

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	20	課題区分	C	令和8年(2026年)4月2日
横断的な課題	安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり					南信州地域振興局
地域重点政策	安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり					
実施機関	飯田保健福祉事務所・南信州地域振興局			担当課	所属	飯田保健福祉事務所健康づくり支援課
事業名	南海トラフ地震など大規模災害備えた地域防災力の向上 南信州防災実践セミナー				電話	0265-53-0443(内線2141)
					E-mail	jidaho-kenko@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	災害時における食生活支援やペット対策などについて、平時からの備えを含めた対応方法を学び、避難所運営に必要な実践的な知識を習得する。また、関係者との連携を強化し、災害対応力の向上を図る。				
	現状と課題	南信州地域では、南海トラフ地震などの大規模災害が予想されている。また、山間部が多いため、土砂崩落などにより集落が寸断され、孤立する可能性もある。そこで、平時から備蓄を含めた災害への備えを進めるとともに、発災時の栄養・食生活支援や避難所におけるペット対策などを講じておく必要がある。				
概要等	内容 (変更後の内容)	南信州防災実践セミナーの開催 (南信州地域振興局との共催で開催。保健福祉事務所は、避難所運営支援を担当) ○日時: 令和8年2月5日(木) 午前9時30分から午後4時30分まで ○対象者: 市町村危機管理・防災担当者、管理栄養士、保健師、保健衛生関係者等 ○内容 ・ワークショップ「気象防災ワークショップ(南信州地域土砂災害編)」 ～防災気象情報の読み取りと、防災体制や避難情報発令の検討～ ・実習「パッククッキング」 ・説明「災害用食品、病態用食品(特殊栄養食品)について」 ・講義「避難所のペット対策」 ・講演「災害時の食生活支援の実践と課題」 ・グループディスカッション 「地域における災害時の避難所の生活支援体制について」				
	事業期間	令和7年4月		～	令和8年3月	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	南信州防災実践セミナーの開催	研修会開催経費	50,000	調理実習材料費: 4,275円 食生活指導パネル購入費(3枚): 42,900円 文具等消耗品費2,825円		
	合計		50,000			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	参加者の満足度(アンケート調査)		50%以上	100%	達成	
	栄養、食生活支援の重要性の認識(アンケート調査)		50%以上	86.7%		
	パッククッキングの理解度		50%以上	61.7%		
事業実績・成果	【事業実績】 ・飯田保健福祉事務所と南信州地域振興局で連携し開催した。 ・気象情報の読み取り、パッククッキング、非常用食品(要配慮者用食品を含む)、避難所におけるペット対策、災害時の栄養・食生活支援など、多岐にわたる内容で実習や講演を実施した。 【成果】 ・アンケート結果からは、「危機管理部門と保健衛生部門の双方の関係者が集まったことで、相互理解が深まった」という感想もあり、課所を超えた連携が深まった。 ・他にも、参加者からは、災害時の食生活支援や要配慮者への食品対応、ペット同行避難への備えについて、平時から関係部署で検討しておく必要性を認識したといった趣旨の意見があり、今回の研修が、災害時における栄養・食生活支援のあり方を考えるよい機会となったと考えられる。					
	今後の方向性	危機管理部門と保健衛生部門の双方が互いの業務を理解し、平時から連携を深めておくことで、発災時に迅速な対応が可能になると考えられる。 今後も、連携をテーマとした研修の実施が望まれる。				